

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立紀伊小学校
校長氏名	吉川 豊
作成日	令和 2年 3月 6日

1 教育目標

『心豊かに たくましく生きる 子供を 育てる』

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・児童アンケートで「毎日の勉強がわかるを90%台に ・県学習到達度調査で各教科、正答率が県平均を上回る	・児童アンケートで「学校が楽しい」の割合を増やす ・保護者アンケートで「挨拶がよくできている」を80%台に。 ・他校(園)と学期毎に交流	・保護者アンケートで「早寝、早起き、朝ごはん」の定着を90%台に ・体力テストでは全国平均を上回る	・保護者アンケートで「学校の様子がわかる」を90%台に ・ありがとう集会を年間2回、外部講師は学期に複数回招く
重点目標	○基礎学力の向上を図る ○教員の授業力の向上を図る ○家庭学習の習慣化及び充実 ○読書活動の推進	○道徳教育・人権教育の充実 ○自己肯定感や自尊感情が高められる取り組みの推進 ○良好な仲間づくりの形成	○基本的な生活習慣の確立 ○運動に親しむ基礎を育てるとともに体力向上を図る ○危機回避能力の育成	○積極的に情報を発信する ○地域や保護者からの提言の吸取に努め学校経営に生かす ○地域の資源活用を進める
取組の状況	○授業づくり基礎基本3か条を取り入れ、小集団で考えを深めたり広めたりする学び合いの時間を設定した。 ○各学年で研究授業を提案し、授業力向上につなげた。 ○「紀伊タイム」では基礎基本の定着や反復学習の時間として活用した。	○道徳の授業では、読み物教材以外に外部から講師を招き取り組んだ ○自主的な態度を育成するため、児童会・委員会・クラブ活動に取り組み、児童の運営も入れてみた。 ○紀伊幼稚園、紀伊コスモス支援、盲学校との交流を定期的に行った ○大休憩に図書室を開放、読書機会を増やした	○「早寝早起き朝ごはん」の重要性を伝えた ○「全校チャレンジ(縄跳び、10分間走)」に取り組んだ ○地震・火災発生の避難訓練を行った。周囲に大人がいない休憩時の発生を想定した訓練も行った。不審者対応の訓練も行う	○学校だより・学年だより・ホームページ等により情報発信に努めた ○保護者に、よりよい小学校をつくるためのアンケートに協力してもらった ○紀伊文化まつり、夏祭り、子ども会、教育講演会等で地域と交流を図った ○地域の方には見守り活動に協力いただいた
取組の成果と課題(評価結果)	○子供たちは意欲的に取り組むが、学習内容によっては意欲が低下したり、個別の支援がないと理解しにくい場面もある。職員数の問題もあり、全学級へのTT支援が十分できなかった ○「家庭学習の手引き」を全家庭に配布するが、習慣化が難しい面がある	○学校生活の全ての場で温かい人間関係や豊かな心情を育てることに努めた。子供への目配りをさらに充実させていく必要もある ○他校との交流は豊かな心の育成につながった ○図書室の積極的な利用を促し、読書機会をさらに増やしたい	○保護者アンケートでは、「早寝早起き朝ごはん」が身につけているとの回答は昨年度より上がり80%あった ○体力テスト結果は例年なみだが、体力向上への取り組みは充実させていく ○幼稚園との合同訓練も行えた	○紀伊文化まつりの展示出品のために、児童は早い時期から工夫をこらし作品制作に取り組んだ ○ホームページには全ての教育活動の掲載はできなかったが、少しでも情報を発信することに努めた ○「ありがとう集会」には、保護者、地域の多くの方に子供たちの様子を見ていただいた
改善方法	○基礎基本の定着に向け「紀伊タイム」のより一層の充実を図る ○個別指導の充実のための体制を整える ○指導法については職員間で日頃から話し合う雰囲気を作成する ○家庭学習の大切さについて、啓発を更に努める	○あいさつ運動をはじめとする児童会・委員会活動を一層充実させる ○子供への声かけや励ましを常に忘れず、職員間の情報共有も密にする ○読書への興味関心を高めていく ○他校との交流を継続する	○「早寝早起き朝ごはん」の大切さについて啓発に努める ○体育備品を充実させるとともに、全校チャレンジも継続する ○登下校時の安全確保のため、PTAや関係機関との連携を深め、交通ルールの指導も徹底する	○地域や関係機関との情報共有・連携に努め、地域から愛され見守られる学校を目指す ○懇談会やアンケート、会合等から学校へのニーズをとらえ、よりよい学校運営を目指す ○学校の様子が分かるように、情報発信に努める

3 その他の課題

- 学習指導要領改訂に伴い、外国語活動の指導方法について研修を更に深める必要がある
- SNSの正しく安全な利用方法について、児童・保護者に啓発していきたい
- 施設の老朽化がすすんでいる。引き続き要望をあげ、修繕や改修に取り組んでいく
- 清掃活動を重視し、学習環境を整え、人間形成の場にふさわしい環境づくりに力を注ぐ